

K Y 症候群

元総理大臣の麻生さんは、「未曾有」を「ミゾウユウ」、「踏襲」を「フシュウ」などと読み、さんざん笑い物にされました。最近では、前官房長官 平野さんが「誘拐」を「ユウワク」と何回も読み、突っ込まれていました。まあ、このように漢字の読み誤りを指摘するということは、私はあながち悪いことだとも思っていません。正しい日本語を後の世代に引き継いでいくことに貢献すると思うからです。

私たち速記者にとって、想像もつかないような読み誤りは悩みの種でもあります。北海道議会速記室編集の「HOW TO 修文・読点」に次のような例が紹介されています。「シヨイ サイモ キョクケイテキなサンイガタである……」、ここまでにとどめておきますが、こんな発言を聞いたら、速記する手は恐らくとまってしまうことでしょう。速記者はそれを直ちに「いわゆる（所謂）最も典型的な散居型である……」の読み誤りであることを理解し、正しく速記していく、あるいは反訳のときには、長く考え込むことなく、スムーズに反訳できる能力、知識が必要です。

かつて「国会会議録用字例」（昭和 38 年版、昭和 50 年版）には、「進捗」について「シンショウ」という読みも付記されていました。私も実際に「シンショウ」という発言を聞いたことがあります。用字例に付記されるくらいですから、かなり普及(?)していたとも考えられます。しかし、最近では皆さん正しく「シンチョク」とおっしゃいます。「赤信号、みんなで渡れば怖くない」という名言がありますが、言葉の変化というのはそういうものです。この「進捗」という言葉は、10 人のうち 4 人くらいが赤信号を渡りかけたところで、なぜか思い直して、引き返してきた貴重な例です。

「独壇場」という言葉があります。かつては「独擅場」と書き、「ドクセンジョウ」と読んだのだそうですが、今ではすっかり「独壇場（ドクダンジョウ）」が定着しています。正しく「ドクセンジョウ」と言おうものなら、速記者に「独占場」と書かれかねません。このことについて、昭和 59 年に犬山で開かれた全速連のときに、会長である川崎 明さんに質問したことがあります。川崎さんは「ドクセンジョウが正しい」とおっしゃっていました。明治 44 年生まれの川崎さんには「ドクダンジョウなんて漢字の読み誤りだ」という意識があたりだったんだろうと思います。

漢字の読みに限らず、言葉というものは、無意識ではあるが社会的合意によって成立しているものです。100 人が 100 人そのような使い方をすれば、それが正しい言葉として定着していつてしまいます。昔から言葉なんていうものは、変化に変化を重ねて、その結果が現在の日本語あるいは 語ということになっているだけです。

とはいえ、余りに過激に言葉が変化すると、世代間の意思疎通の障害になります。変化はなるべく緩やかなほうが望ましいのだろうとは思いますが。そのためにも、漢字の読み誤り、あるいは誤った言葉の使い方をお互い指摘し合い、誤りを戒めるのもいいのかなと考えるわけです。

前置きが長くなりました。今回は、実際に私が耳にした読み誤りを一覧表にしてみました。「ショイ サイモ キョクケイテキなサンイガタである……」と聞いて、何が何だかわからず、「ショイ……」などと片仮名書きすることのないよう、事前に頭にたたき込んでおくための材料、実例を提供します。元データには作者のお名前もしっかり記載してありますが、作者の皆様の名誉を守るために、一部を除き一応伏せておきます。

なお、篠崎晃一監修「ウソ読みで引ける難読語辞典」(玄冬書林)という本も発行されています。ご紹介しておきます。

NG発言	もとの語	用例、注釈など
あいさつ	相殺	
あいじ	隘路	
ありうります	あり得ます	「得る(うる)」はラ行5段活用ではない。「ます」に続く連用形は「得(え)」なので、「あり得(え)ます」。
あんよう	安易	
あつのうか	篤農家	
いこうどうあん	異口同音	
いじゅう	居住	「移住」と反訳しないように
いぞく	委嘱	
いちい	市井	
いちじょう	市場	
いちにちじゅうやまみち	旧中山道	
いっこくにちょう	一石二鳥	
いっすん	ちょっと(一寸)	
いっせつ	一切	間違いではないが、非常に古い言い方である
いっちょういったん	一朝一夕	
いっぷ	一掃	
いにする	異にする	
うちしゃく	内訳	
えいす	営巢	クマタカのえいす
えが	絵画	
えだ	えと(干支、この漢字表記が「えだ」に見えなくもないが.....)	
えんこつ	円滑	
えんせい	誕生	
えんどる	縁取る	城址を縁取る景観構成
おうぼ	募集	
かいくつ	開削	かいくつこうほう(開削工法)
かいせい	改定	字がよく見えないのかも?
かかわる	係る	「かかわる」と「係る」を書き分ける
かくかくの	おのおのの(各々の)	
かくそくない	おぼつかない(覚束ない)	
かくとう	該当	
かね	おおむね(概ね)	
~かねない	~かねる	
かんご	介護	
かんごほけん	介護保険	
かんちがい	間違い	
かんてい	勘定	損益勘定(カンテイ)留保資金
かんびん	簡便	
かんよう	簡易	
がいに	既に	
きいろぶどうきゅうきん	黄色ブドウ球菌	
きじゃく	脆弱	
ぎせいしゃ	為政者	
きんえん	喫煙	「禁煙」も「喫煙」も「きんえん」
きない	来ない	
きゅうさいだいきゅうすいりょ	1日最大給水量	
きゅうしょめいせき	名所旧跡	
きゅうゆ	給湯	
きゅうゆしつ	給湯室	
ぎょうあつ	抑圧	「仰」の見誤りか
ぎょうきゃく	行脚	

きょうろん	教諭	「論」の見誤りか？ だが、学校現場での使用実態があるらしい
きりつ	樹立	
けいげり	掲げる	
けつぎ	議決	
げんさつ	滅殺	
けんぶつ	建物	
けんりつ	建立	
ごうへい	合併	
こかん	眉間	こかんにしわを寄せる
こさい	子細	
さいたく	採決	
さいかい	散会	
さくどう	作動	
さご	錯誤	
さっきゅう	遡及	遡及適用
ざんげん	漸減	
ざんじ	漸次	「暫時」と反訳しないように
ざんして	残して	
ざんぞう	漸増	
しせつ	施策	主要しせつ成果、福祉しせつetc.、非常に多い
しっしたい	ただしたい(質したい)	
しほう	同法	しほうの規定による、「司法」の見
じゆき	樹木	
しゅんちょう	しゅんせつ(浚渫)	
じゅんしよ	準拠	
しょうげん	削減	補助金しょうげん
じょうしよ	情緒	
じょこつ	肋骨	
しよしよの	もろもろの(諸々の)	
しよじよの	もろもろの(諸々の)	
しよち	措置	「措置」と「処置」に書き分ける
しよてん	拠点	
じら	みずから・おのずから (自ら)	
しわく	思惑	
じんあい	塵芥	
しんしょう	進捗	現在では認められている
しんしよく	進捗	
しんぼ	進捗	
しんぼりつ	進捗率	
すいご	逐語	
すいじ	逐次	
すいり	乖離	
すべからず	すべからく	
すまいるとう	スリーマイル島	
すりらーじょう	スラリー状(泥状)	
せいかんたいいしよく	生体肝移植	「性感体移植」と反訳しないように。
せきてい	堰堤	
せざる	せざるを得ない	建設せざる一面がある
せざる	せざるを得ない	
せざる	せざるを得ない	入院せざる状況に陥りました
せつすいせいげん	取水制限	単に「節水」とすべきか？
ぜろいちななご	0157	
ぜんがく	金額	
せんせいをきされる	機先を制される	

せんたくわざ	選択肢	
そうおうしい	ふさわしい(相応しい)	
そうかてき	総花的	
そうきゅう	早急	本来は「さっきゅう」だが、現在はOK
そうさつ	相殺	
ぞうし	造詣	ゾウシの深い
そくす	促す	
そくう	そく	職員の意欲をそくわないような体制をそがない
そくに	既に	「即」の見誤りと読み誤りのダブルか?
そせい	素性	
そっきゅう	早急	「さっきゅう」と「そうきゅう」の混合か
そんしゅ	遵守	
ぞうこう	増高	本来は「増嵩、ぞうすう」であるが、現在は読み、表記ともに認知されていると いってよい
ぞくたく	囑託	
そんぼう	遵法	
たいきょ	対処	
たいさく	採択	補助たいさく
たいしゃく	貸借	
たいもう	大綱	「綱」の見誤り
だいやるちゅうてつかん	ダクティル鑄鉄管	
だんわ	緩和	
ちゃくて	着手	
ちゅうすい	中枢	
ちょうかつ	超克	
ちょうしゅう	聴取	意見ちょうしゅう
ちよたくきん	預託金	
ちんしゃく	貸借	
ついこう	遂行	
つきおびこうじ	附帯工事	屋外附帯工事
ていけん	低廉	
てどう	手動	
と	戸(こ)	
とうかく	当該	
とうきまつしよぶんりえき	当期末処分利益	
とおいん	遠因	
とこめんせき	床面積	
とすう	戸数	誤りだとは思いますが、「個数」と区別できるので、ありがたい。
とよう	雇用	「雇」のたれ「戸」に引っ張られ、さらに「登用」との混同か
とりえ	取得	
どうい	同居	
どくだんじょう	独壇場	本来は「独擅場、どくせんじょう」だが、現在はOK
ねうしせん	子午線	
ぱーせんと	割	% = 割だと思っているようだ
ばくつとした	漠とした(?)	
はじょう	破綻	医療保険制度は既(ガイ)に財政破綻(ハジョウ)を来し
はじょう	破綻	
はたて	旗手	
ばんくう	満腔	
はんざつ	頻繁	
はんぱ	半ぱ	道半ぱ(ハンパ)

ひ	旨	
ひすい	批准	
ひんぱく	逼迫	
ふしゅう	踏襲	
ふっきゅう	普及	「復旧」と反訳しないように
ふのうけっさん	不納欠損	
ぶんせつ	分析	
ふんぷ	頒布	
ぶか	賦課	
へいよう	供用	
へくたーる	平米、平方メートル	
ほことん	矛盾	
ぼしゅう	応募	に募集する
ほっさく	掘削	
～まいに	～ごとに(毎に)	
～まいの	～ごとの(毎の)	
まさくらいん	正倉院	
みぞうゆう	未曾有	
みどりのした	縁の下	
めからうんこ	目からうろこ	
めっさつ	滅殺	「滅」の見誤りか
まだん	間断	
もうじゃく	耗弱	心神もうじゃく
もくしして	目指して	「目視」という言葉もあるので要注意
～にもっとって	～にのっとって	「基づいて」と「のっとって」の混合か
やがい	屋外	屋外便所、「野外」と反訳しないように
やなぎやなぎ	そもそも(抑々)	
ゆうむ	有無	
ゆうわく	誘拐	
ようさい	詳細	
ようような	様々な	
りゅうよう	充用	予備費の充用
るいに	類似	
ろうこうか	老朽化	
ろうちく	老朽	ろうちく保育所の建てかえ
るすい	漏水	